

地域に物知り博士を増やそう！ in 山口

—めだかの学校—

	代表者	神河裕未（教育B 2年）
構成員	世良香菜美（教育B 3年） 奥原有子（経済B 3年） 山中清道（経済B 3年）	
	三戸千明（経済B 3年） 砂田夏希（人文B 3年）	
	末次美琴（教育B 3年） 竹下幸恵（経済B 3年）	
	木原綾華（経済B 3年） 高木茜（教育M 2年）	
	諸見里樹（経済B 2年） 石田結花（人文B 2年）	
	小林遼（教育B 2年） 大坪悟（経済B 2年）	
	山田直樹（経済B 2年） 竹内義博（工学B 2年）	
	田村理沙子（人文B 2年） 月野江理香（教育B 2年）	
	前田智司（経済B 2年） 重野聡（農学B 2年）	
	中川舞香（教育B 1年） 石松裕久（経済B 1年）	
	宗平将幸（工学B 1年） 池田りこ（教育B 1年）	
	伊崎真理菜（教育B 1年） 石田美紗希（教育B 1年）	
	渡部未来（教育B 1年）	

1. 1年間の活動

1-1 子どもイベント（5月18日）

山口市立平川小学校の子ども達対象に、「山大ウォークラリー」をしました。当日は子ども 21 名、大学生 18 名の参加でした。今回初めて幼稚園の子が参加して、小学生と幼稚園児のコラボも見る事ができました。クイズを出したりペットボトルボーリングを行ったりと子ども達も楽しそうに活動をしてくれました。今回、初の試みであるウォークラリーの後に運動をする活動も子ども達はすごく喜んでくれました。教育学部の中庭で長縄と「けいどろ」を行い、子ども達のパワフルさを実感しました。大学生はもっと体力をつけて子ども達と真剣に遊



図1 「山大ウォークラリー」の様子



図2 ウォークラリー後の運動（長縄）

べるようにならないといけませんね。とても暑かったので熱中症などが心配でしたが，みんな元気いっぱい帰っていきました。帽子と水分補給の指示もきちんとでき，適度に休憩も入れ，安全に行うことができてとても良かったです。

1-2 チャレンジ教室子どもイベント（6月14日）

山口市立平川小学校の子ども達と魚釣り・芋の苗植えをしました。子ども達は40人近く参加し，大学生も15人参加しました。この活動が入ったばかりの大学1年生には初めてのイベントでした。当日は，天気も良くて活動がスムーズに進みました。低学年の子は，魚を釣るときに使うムシをなかなか釣竿につけることができず，大学生に手伝ってもらいながら一生懸命魚を釣っていました。川の場合によっては，魚が全然釣れないところがあり，途中で飽きてしまう子もいましたが，全員が笑顔で活動を行うことができました。苗植えした芋は，毎年11月にチャレンジ教室で焼き芋にします。焼き芋のことを考えながら，協力して芋の苗を植えることができました。私も，11月が来るのが待ち遠しくなりました。



図3 チャレンジ教室ー魚釣りー

1-3 チャレンジ教室ーけん玉ー（7月5日）

けん玉名人を呼び、子ども達と一緒にけん玉をしました。子ども達は、けん玉名人が使っているものと同じけん玉を使って技の練習をしていました。飛行機などの技があり、大学生も一緒になって練習しましたが、なかなか名人のようにはいきません。子ども達も2時間飽きることなくそれぞれがけん玉に向き合い、楽しい時間を過ごしました。子どもは40名、大学生は12名参加しました。

1-4 七夕祭（7月12日）

山口大学で行われた七夕祭で、スーパーボールすくい屋さんをしました。大学生が多く集まるお祭りで子ども達が来てくれるのか、当日まで不安でいっぱいでした。当日は、良い天気で、思っていた以上に子ども達が来てくれました。ポイがなかなか破れなかったので、小さい子でも簡単にすくうことができ、とても喜んでくれました。保護者の方に「食べ物のお店はたくさんあるけれど、子ども達が楽しめるものが少ないから嬉しいわ」と言われ、私達もとても嬉しかったです。



図4 七夕祭でのスーパーボールすくい屋さん



図5 七夕祭集合写真

1-5 ジャンボリー1年前イベント（8月2日）

悪天候のため、中止になりました。今回は、2年生主体で行う予定だったので2年生が準備を頑張ってくれていました。頑張りを見ていた分、中止の連絡が入り、とても悲しくなりました。来年のジャンボリー本番では、後輩達の活躍が見られることを期待しています。

1-6 瑠璃光寺イベント（8月8日）

台風が来てしまい、中止になりました。民間会社の貸し切りバス利用のことでいろいろ大変でしたが、学ぶこ

ともたくさんありました。山口大学公用車のバスをできるだけ借りるよう次回から気を付けようと思います。当日は、中止の連絡がうまく伝わっておらず、集合場所に来てしまった子がいました。その子達の楽しみをなくしてしまったのでとても申し訳ない気持ちになりました。秋の「博物館イベント」は無事に開催でき、たくさんの参加者が来てくれると良いなと思います。

1-7 アートふるリバーナイト (9月14日)

天気も良く、風も吹かず川沿いの灯籠の火がきれいに燃えました。毎年、ろうそくが消えてしまうので火をつける作業が大変なのですが、今年は恵まれていました。地域の方が、「きれいなものを見ることができたわ」と話してくれ、ろうそくに火をつけるのは大変でしたが、心はとても温かい気持ちになりました。



図6 アートふるリバーナイト(1)



図7 アートふるリバーナイト(2)

1-8 アートふる山口 (10月4日, 5日)

一の坂川の赤レンガ周辺で毎年行われるイベントにめだかの学校も参加しました。めだかの学校は、「小石にお絵かき」、「ホットボンド工作」、「地面にお絵かき」の3つのブースを出しました。たくさん子ども達や保護者の方、また地域の方がブースに来てくれたので、とてもやりがいがありました。ブースに来てくれた方から「ありがとう」、「たのしかった」などの暖かい言葉をもらい、うれしい気持ちになりました。

1-9 チャレンジ教室－防災の勉強－ (10月25日)

地域の方々の協力のもと、災害時に役立つ工作を子ども達としていきました。空き缶をくりぬいて、簡単なランプや、大型ビニール袋でカップを作りました。そのほかにも災害時の心構えを教えてもらうこともできました。余った時間はボルダリング（岩登り）や、「空き缶積み」などのレクリエーションで楽しみました。自分達にとっても、子ども達にとっても貴重な体験ができたのではないかと思います。

1-10 チャレンジ教室－芋ほり－ (11月8日)

小学生があらかじめ植えていたさつまいもを、子ども達と共に収穫してきました。さつまいもはとても大きく、子ども達は掘り返すのにとても大変そうでしたが、みんなで協力してたくさんとることができました。収穫したさつまいもはその場で焼き芋にして、みんなで食べました。

1-11 平川祭り (11月16日)

山口市立平川中学校のグラウンドで地域のお祭りが開かれたため、「ぶんぶんゴマ」の作成コーナーを出店しました。たくさんの方の来店があり、いつもめだかの学校の活動に参加してもらっている小学生や、山口大学の留学生の方とも交流できました。消防車の試乗体験、ビンゴ大会などいろいろなことを楽しむことができてとても良かったです。

1-12 博物館で埴輪をつくろう (11月22日)

今回は、快晴に恵まれ、また30人もの子ども達が参加してくれました。埴輪が何なのか、何をするために作られたのかなど、埴輪について何も知らない子がほとんどでした。しかし、博物館で施設の方が埴輪について子ども達にクイズや映像を見せて説明してくれたり、また実際に埴輪をつくる体験をさせてくれたりしました。おかげで最後には埴輪について子ども達が話せるほどの成長を遂げることができたので良かったです。

1-13 子どもイベント－クリスマス工作－ (12月21日)

クリスマスが近いということから、クリスマスカードとクリスマスリースをつくりました。子ども達が作業しやすいように、工作の道具や椅子や机の配置などを考えて、イベントに臨むことができました。また、今回は2



図8 増輪の材料



図9 でき上がった増輪



図10 でき上がったクリスマスリース



図11 でき上がったクリスマスカードの一例

名の保護者の方も子ども達と一緒に工作を楽しんでくれたのでとても良かったです。子ども達は、自分のオリジナルのカードとリースを作り上げることができました。個性あふれる作品ができ、見るだけでも十分に楽しめる作品になりました。

1-14 チャレンジ教室—手打ちうどん・スイートポテトづくり—（2月7日）

6月に植え、10月に収穫した芋を使ってスイートポテト作りをしたり、手打ちうどんを作ったりしました。自分達が育てて収穫した芋を使って、自ら料理をすることは、なかなか体験できないことなので、子ども達にとってとても良い経験になったのではないかと思います。また、手打ちうどん作りでは、粉まみれになりながらも一生懸命に生地をつくる子どもの姿を見ることができました。手打ちうどんとスイートポテトを食べている時の子ども達は、幸せそうな表情をしていました。



図 12 チャレンジ教室—手打ちうどんづくり—

2. まとめ

今年の活動では、天候に恵まれずに中止になってしまったイベントもありましたが、それらも含めてとても良い経験をすることができました。想定外のことが起こった場合に、どう対応すべきなのか、子ども達に対してどんな支援が必要かを考えることのできたこの1年間は、学生にとって刺激の多い1年になりました。

めだかの学校は、地域団体との関わりが深く、たくさんの地域行事やイベントに参加しています。行事やイベントに参加するたびに人との新しい出会いがあり、人と人とのつながりの大切さを実感することができます。これからも、新しい出会いを大切に活動していきたいです。